

第10回 札内川懇談会が開催されました



第10回 札内川懇談会の様子（帯広市内 とから館にて）

第10回札内川懇談会が、平成30年3月5日（月）に開催されました。

出席者（敬称略）

氏名	所属等
石垣 章	十勝川の生態系再生実行委員会
石原 由美子	アトリエゆふ
鏡 坦	帯広ウチダザリガニ・マスターズ
関川 三男	帯広川伏古地区子どもの水辺協議会
高倉 裕一	川と河畔林を考える会
千嶋 淳	道東鳥類研究所
千葉 利光	エールセンター十勝
柳川 久	帯広畜産大学
野村 秀夫	NPO法人十勝多自然ネット
渋谷 康治	帯広市教育委員会 学校教育部学校教育指導室 指導主事
高桑 浩	中札内村教育委員会 教育次長
武田 光史	帯広商工会議所
桑田 尚行	中札内村商工会 事務局長
八代 芳雄	幕別町商工会 事務局長
米元 光明	帯広開発建設部 治水課長
西岡 悟	帯広開発建設部 帯広河川事務所長
藤田 司	帯広開発建設部 帯広河川事務所札内川ダム管理支所長

■懇談会での意見

<懇談会の経過報告と平成 29 年度の活動報告などを受けて>

- ・川の水が消えている様子を観察した夏のトレッキングは良かった。
- ・夏と冬のトレッキングに参加した人の感想の中で、こういう体験をしたことがないので次も参加したいという声が多かった。
- ・冬のトレッキングは思わぬところに深い水たまりがあつたり、氷の下に魚が見えたりして、札内川の自然は深いと感じた。
- ・水生動物調査で、色々なところに働きかければたくさんの年齢層の人が参加できるようになるのではないか。
- ・水生動物調査で、子供たちと一緒に電気ショッカーを使うのはどうかと思っていたが、網よりも色々な魚が捕れた。今回の場所を継続して調査すると変化が見られるのではないか。
- ・川狩りが観光振興につながる。そこに住んでいる人が楽しまなければ、インバウンドにもつながらない。川狩りはどうか。料金をとって経済活動につなげて良い。石積み・川遊びは小学校との連携が良い。
- ・一般公募の PR の仕方を検討していただきたい。

<札内川技術検討会との関わりについて>

- ・札内川技術検討会との関係について、今年はダムの放流があるので、礫河原の再生、ケショウヤナギについてわかりやすい形で伝えていきたい。チドリもとりつきやすいので、その様などころから披露していきたい。

<札内川の魅力情報発信（マップ）について>

- ・パーベキュースポットを盛り込んでみてはどうか。
- ・人間利用エリアとそうでない場所のゾーニングが必要である。そういうマップを作るのも、懇談会の仕事だと思う。

<その他の意見>

- ・札内川の鳥類目録を作った。こういうものが水系ごとに必要である。十勝の鳥の活動に貢献できれば良いと思っている。
- ・札内川らしさについて。清流日本一に最近なっていない。何とかもう一度、日本一になってそれが取り上げられるようになると良い。地元の人、もっときれいにしようという意識になる。
- ・商業ベースで考えて川を活用する場合、手つかずのままでは難しい。自然を守って行こうということと、うまく折り合いをつけられると良い。